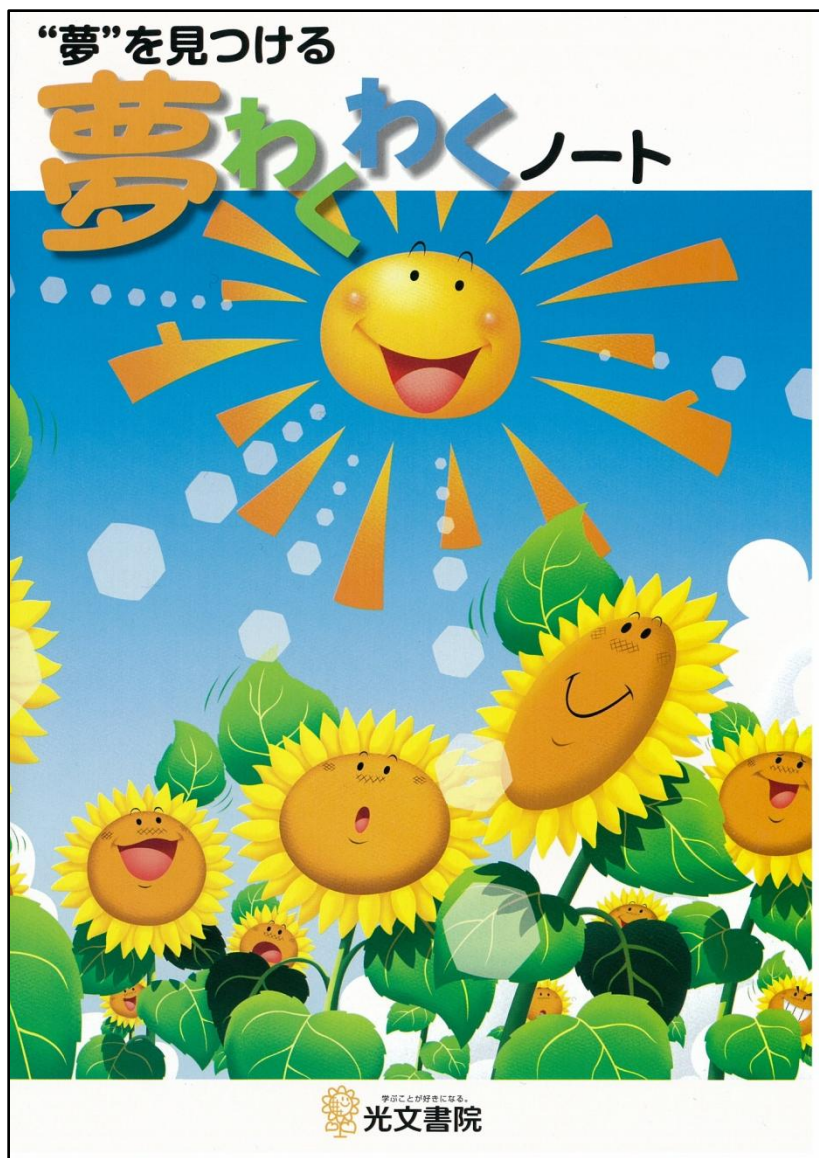


■2008年1月15日 光文書院「夢わくわくノート」



## と泊まることで世界のためになる “伝説のホテル”を!

ホテルの経営 鶴岡 秀子さん  
ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト(株) 社長



人と長く密着できる仕事をしたい!



ずっと世の中のためになるような会社をつくりたいと思っていました。ある時、自分のなりたいものになれるとしたら、ホテルをつくるのがいちばんわくわくすると思いました。人が好きで、人から喜ばれる

ことが好きで、人と長く接することができる職業に興味があったからだと思います。それからホテルで働いたことのないわたしが、ホテルづくりにチャレンジすることになりました。

ある出張帰りの飛行機の中で、「伝説のホテル」という声が聞こえた気がしました。「伝説のホテル? 伝説によって運営されているホテルがあったとしたら、泊まってみたい。」どんな伝説があるホテルが良いかと思いついてペンを取り出すと、何と、自然にすらすらと書き出せたのです。数えてみると7つあったので、「7つの教え」とタイトルをつけました。読み返してみると、自分はこのような生きていきたいと思うことでした。

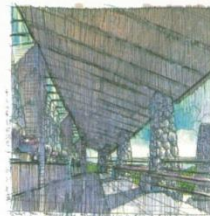
この想いを共にするスタッフが働き、賛同する人が支援し、共感する人が泊まりに来るとしたら…『伝説のホテルになる!』と確信したのです。こんなホテルをつくるのがわたしの夢です。

### ●7つの教え●

1. 自然に感謝し、その偉大さを受け入れること
2. 常にエネルギーを充電しつづけ、いつでも分かち合うこと
3. 出会うこと起こることすべてに意味を見出し、発展させる努力をすること
4. 世界が変わるのを待つのではなく、自分が変わることで世界を変えようとする
5. ちがいを尊重し、人との対話の中から新しい発見をすること
6. 人を心から信頼し、信頼される自分になること
7. どんなときも、すぐに気持ちで返しをすること

### 100のつぼで、世界とつながる

このホテルには、100のつぼを置いた長い廊下があります。あまりにたくさんなので、みなびっくりして、そばによって見たくくなります。すると、一つ一つにカードがついており、説明が書かれています。「難病の子どもたちを救うためのつぼ」とか「井戸をほるためのつぼ」、「森林を植えるためのつぼ」などあり、関心のあるつぼへチャリティー（慈善・救済活動のこと）としてお金を入れていくことができます。この長い廊下を歩いているだけで、世界じゅうの人とつながっていることを感じるができるのではないのでしょうか。わたしたちの生活は、世界じゅうのたくさんの人たちとのかわりによってささえられています。そのことを忘れがちです。泊まることで、そのことを自然に意識できるようなホテルをつくっていきたいと思っています。現在、この夢に向かって取り組んでいて、2009年（平成21）完成を目指しています。



小学生の頃の  
ことを教えて!

わくわくしたこと → バレエの発表会、自分を表現すること。  
得意だったこと → 人と話すこと、人生ゲーム、みんなをまとめること。  
好きだった教科 → 国語（読解）、算数（問題の解き方を考えること）